

第62回 日本生化学会近畿支部例会

要旨集

日時：2015年5月16日（土）

9:10～18:10

会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス
滋賀県草津市

第 62 回 日本生化学会近畿支部例会 プログラム

開催日： 平成 27 年（2015 年）5 月 16 日（土）9:10～18:10
開催場所： 立命館大学びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市）
エポック立命 21・ラルカディア
ホームページ： <http://aqis-conf.org/2015reikai-jbskinki/>
参加費： 無料 懇親会参加費： 4000 円（学生無料）

タイムスケジュール

- 08:30 –** 受付開始（エポック立命 21 1階エントランス）
- 09:10 – 09:15** 開会の辞（例会長、西澤幹雄）（ラルカディア 1階 R101）
- 09:15 – 09:55** シンポジウム講演 1：伊藤 誠二
「成熟した疼痛研究からの新しい展開」（ラルカディア 1階 R101）
- 10:05 – 11:55** 一般発表（口頭発表）：11 題／会場
A, B, C, D, L 会場（エポック立命 21・ラルカディア；会場図をご参照ください）
- 12:05 – 12:35** ランチョンセミナー（アミノアップ化学主催）：宇留島 隼人
「日本の伝統食品であるシソの新たな可能性～大腸炎治療効果のエビデンス獲得に向けた研究～」（ラルカディア 1階 R101）
- 12:40 – 13:10** ポスター前で自由討論（エポック立命 21 1階ホール）
- 13:10 – 14:10** 一般発表（口頭発表）：6 題／会場
A, B, C, D, E 会場（エポック立命 21・ラルカディア；会場図をご参照ください）
- 14:20 – 15:25** 一般発表（ポスター発表）と高校生のポスター発表（エポック立命 21 ホール）
- 15:40 – 16:20** シンポジウム講演 2：森 和俊
「小胞体ストレス応答によるタンパク質品質管理」（ラルカディア 1階 R101）
- 16:20 – 17:00** シンポジウム講演 3：長田 重一
「細胞死と"eat me"シグナル」（ラルカディア 1階 R101）
- 17:00 – 17:40** シンポジウム講演 4：喜多 正和
「動物実験と生化学の深い関係：社会に貢献する動物実験」
（ラルカディア 1階 R101）
- 17:40 – 18:10** 平成 27 年度日本生化学会近畿支部奨励賞の授賞式と受賞記念講演
波多野 亮「上皮膜輸送機能制御における細胞骨格系アダプター蛋白質エズリンの役割」（ラルカディア 1階 R101）
- 18:30 – 20:00** 懇親会（優秀発表賞の発表と表彰を含む）（ユニオンスクエア）
- 12:00 まで** ポスター掲示（エポック立命 21 1階ホール）
- 17:00 まで** ポスター撤去（エポック立命 21 1階ホール）
- *12:05 – 13:05** 近畿支部評議員会をエポック立命 21 3階 K304 にて開催します。

演題表

	9:10~9:15	開会の挨拶:西澤 幹雄 (ラルカディア1階R101)				
S1	9:15~9:55	シンポジウム:伊藤 誠二 (ラルカディア1階R101)				
	10:05~11:55	一般講演 (演題番号は会場のアルファベットと番号からなっています。筆頭著者名を記載しています。)				
	セッション	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
		エボック立命21 3階K309	エボック立命21 3階K310	ラルカディア 2階R201	ラルカディア 2階R202	ラルカディア 1階R102
1	10:05~10:15	A1:松本 直樹	B1:稲荷 尚吾	C1:大矢 知佳	D1:山崎 正幸	E1:栗田 宗一
2	10:15~10:25	A2:佐藤 真希	B2:澤野 俊憲	C2:小原 惇	D2:岩井 良祐	E2:小野寺 章
3	10:25~10:35	A3:位田 康熙	B3:藤井 愛理	C3:中尾 広美	D3:田中 誠	E3:平松 貴人
4	10:35~10:45	A4:田原 愛華	B4:岩佐 晃輔	C4:山田 敦子	D4:橋田 泰彦	E4:茶谷 絵理
5	10:45~10:55	A5:川井 真好	B5:中尾 友香梨	C5:松島 章子	D5:山崎 聖司	E5:若本 拓朗
6	10:55~11:05	A6:三輪 瞬平	B6:松村 美紀	C6:齋藤 僚	D6:清水 莉子	E6:赤坂 一之
7	11:05~11:15	A7:大山 克明	B7:若井 恵里	C7:高井 雅聡	D7:加藤 洋平	E7:森川 ありさ
8	11:15~11:25	A8:藤井 裕己	B8:森口 剛介	C8:吉田 亜佑美	D8:山本 晃毅	E8:谷口 甲介
9	11:25~11:35	A9:山口 大志	B9:松岡 悦子	C9:堀部 智久	D9:横川 貴太	E9:田中 正和
10	11:35~11:45	A10:加藤 志郎	B10:大野 華奈	C10:芦野 佳那子	D10:辻 将吾	E10:英山 明慶
11	11:45~11:55	A11:西 海斗	B11:馬屋原 慈理	C11:Kongpracha P.	D11:石田 莉葉子	E11:東本 菜月
L	12:05~12:35	ランチョンセミナー(アミノアップ化学主催):宇留島 隼人 (ラルカディア1階R101)				
	12:40~13:10	ポスター前で自由討論 (エボック立命21 1階ホール)				
		近畿支部評議員会 (12:05~13:05、エボック立命21 3階K304)				
	13:10~14:10	一般講演 (演題番号は会場のアルファベットと番号からなっています。筆頭著者名を記載しています。)				
	セッション	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
		エボック立命21 3階K309	エボック立命21 3階K310	ラルカディア 2階R201	ラルカディア 2階R202	ラルカディア 1階R102
12	13:10~13:20	A12:大野 絹代	B12:上田 佳奈	C12:山下 紘季	D12:山口 賀章	E12:内藤 朋樹
13	13:20~13:30	A13:吉田 沙織	B13:福井 健人	C13:牛田 吉泰	D13:池田 亜弥	E13:土谷 正樹
14	13:30~13:40	A14:柴田 理志	B14:藤井 正興	C14:田島 達也	D14:浅野 弘嗣	E14:徳永 智久
15	13:40~13:50	A15:河野 貴子	B15:梅川 碧里	C15:中西 加純	D15:坂本 凌	E15:豊竹 洋佑
16	13:50~14:00	A16:矢澤 一生	B16:志田 美春	C16:早川 結実子	D16:小西 諒	E16:木村 優花
17	14:00~14:10	A17:森田 寛之	B17:本田 葵	C17:和久 友則	D17:植山 萌恵	E17:片岡 三和
	12:00まで	ポスター掲示 (エボック立命21 1階ホール)				
		ポスター発表 (エボック立命21 1階ホール)				
	14:20~15:25	一般講演のポスター発表			高校生のポスター発表	
		A1~A17;B1~B17;C1~C17;D1~D17;E1~E17			H1~H12	
		A18:田村 峻佑	B18:奥山 哲矢	C18:成川 智貴	立命館慶祥高等学校	
		A19:浅井 智広	B19:内田 弘子	C19:早川 千尋	京都府立桃山高等学校	
		A20:西田 亮	B20:平 宗一郎	C20:野津 遼祐	大阪府立天王寺高等学校	
		A21:川口 高德	B21:横川 拓海	C21:近藤 真菜美	大阪府立園芸高等学校	
		A22:井上 恭	D18:吉田 徳之	C22:小野 伯容	奈良県立青翔高等学校	
		A23:松田 諒子	E18:井田 智恵利	C23:六嶋 千春	兵庫県立神戸高等学校	
	17:00まで	ポスター撤去				
S2	15:40~16:20	シンポジウム:森 和俊 (ラルカディア1階R101)				
S3	16:20~17:00	シンポジウム:長田 重一 (ラルカディア1階R101)				
S4	17:00~17:40	シンポジウム:喜多 正和 (ラルカディア1階R101)				
P	17:40~18:10	平成27年度日本生化学会近畿支部奨励賞の授賞式と受賞記念講演:波多野 亮 (ラルカディア1階R101)				
	18:30~20:00	懇親会 (優秀発表賞の発表と表彰を含む)(ユニオンスクエア)				

座長については後日、ホームページでご連絡します。

演題表

開会の挨拶:西澤 幹雄 (ラルカディア1階R101)						
シンポジウム:伊藤 誠二 (ラルカディア1階R101)						
一般講演 (演題番号は会場のアルファベットと番号からなっています。筆頭著者とタイトルを記載しています)						
	セッション	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
9:10~9:15						
S1	9:15~9:55					
	10:05~11:55					
1	10:05~10:15	A1:松本直樹(立命館大学)ら、植物細胞壁ペクチンの生合成に関与するガラクトース転移酵素の生化学的解析	B1:稲荷尚吾(同志社大学)ら、血漿セレン含有タンパク質 Selenoprotein P1による陸臓β細胞障害のメカニズム解析	C1:大矢知佳(立命館大学)ら、表面マーカーSca1とCD34による体細胞初期化成功群と不成功群の解析	D1:山崎正幸(龍谷大学)ら、食物アレルギーの問題の解決に電磁波照射は利用できるか?	E1:栗田宗一(滋賀医科大学)ら、Zn-α2-glycoproteinの血清中濃度と血圧の相関およびその分子機構
2	10:15~10:25	A2:佐藤真希(立命館大学)ら、シロイヌナズナPHOT2のLOVドメインの光サイクルが生理反応へ及ぼす影響の解析	B2:澤野俊憲(大阪大学)ら、脳梗塞時のミクログリア機能に対するSema4D作用の解析	C2:小原惇(立命館大学)ら、Gata6, Oct4, Sox2を用いたマウス胎児線維芽細胞からの多能性の誘導	D2:岩井良祐(立命館大学)ら、レプリカ交換分子動力学法によるプロトン化状態の変化に伴うポリグタルミン酸のヘリックス-コイル転移の研究	E2:小野寺章(神戸学院大学)ら、酸化亜鉛ナノ粒子はレニン-アンジオテンジン系を活性化し高血圧を惹起する
3	10:25~10:35	A3:位田康熙(立命館大学)ら、黄金色薬が持つオートファゴソームの光受容能およびDNA結合能の解析	B3:藤井愛理(立命館大学)ら、オウレンの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対する効果	C3:中尾広美(立命館大学)ら、新規ヒトIPS/ES細胞マーカー抗体の工ビトープの同定と結合特異性の解析	D3:田中誠(長浜バイオ大学)ら、新規プロテアソーム阻害剤ダイフェン-Fの構造活性相関研究	E3:平松貴人(神戸大学)ら、ヨウ素染色を用いたアミロイド線維構造多形の識別
4	10:35~10:45	A4:田原愛華(大阪工業大学)ら、ヨーグルト酒からのGABA高生産菌の分離とGABA生産条件の検討	B4:岩佐晃輔(立命館大学)ら、初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対するチロソウコワの効果	C4:山田敦子(神戸薬科大学)ら、コンドロイチン硫酸鎖による骨格筋分化・再生過程の制御メカニズムの解析	D4:橋田泰彦(京都大学)ら、カーボナノチューブを自己組織化的に被覆するペプチド分散剤の設計	E4:茶谷絵理(神戸大学)ら、インスリンB鎖におけるアミロイド線維前駆中間体の捕捉と構造特徴の解析
5	10:45~10:55	A5:川井真好(姫路獨協大学)ら、Staphylococcus aureusの好中球に対する抵抗性の変化	B5:中尾友香梨(大阪薬科大学)ら、バイカレインによる脂肪細胞の分化抑制機構の解明	C5:松島章子(京都産業大学)ら、Anosmin-1の血管形成におけるシグナル伝達経路の解析	D5:山崎聖司(大阪大学)ら、細菌異物排出ポンプの阻害剤結合様式と阻害メカニズムの解明	E5:若本拓朗(立命館大学)ら、高圧力NMR法によるユビキチンの局所変性状態の立体構造解析
6	10:55~11:05	A6:三輪瞬平(近畿大学)ら、イネ苗立枯細菌病菌Burkholderia plantariiにおける三成分制御系TroK, TroR1, TroR2によるトロポロン合成制御システム	B6:松村美紀(大阪薬科大学)ら、甲状腺ホルモンによる脂肪滴蓄積促進機構の解明	C6:齋藤僚(立命館大学)ら、神経分化過程における小胞体関連分解構成因子SEL1Lの役割	D6:清水莉子(近畿大学)ら、細菌ヒスチジンキナーゼのH-boxを標的とする新規抗生物質、waldiomycin	E6:赤坂一之(京都府立大学)ら、"原子"から"いのち"へー蛋白質のパラドックスを紐解く
7	11:05~11:15	A7:大山京明(立命館大学)ら、シアノバクテリア生物時計再構成系におけるKaiCの二状態変化とATPase活性	B7:若井恵里(大阪薬科大学)ら、脂肪細胞におけるプロスタグランジンD2受容体の機能解析	C7:高井雅隆(大阪医科大学)ら、卵巣明細胞腺癌におけるPP2Aを介したPI3K経路とRas pathway経路のクロストーク	D7:加藤洋平(京都大学)ら、Visible immunoprecipitation (VIP) アッセイによるマルチサブユニット複合体の構築様式の解明	E7:森川ありさ(神戸学院大学)ら、銀ナノ粒子による細胞毒性はミトコンドリアからのROS産生に関連する
8	11:15~11:25	A8:藤井裕己(大阪大学)ら、バクテリア由来アキア型ヌクレアーゼへのリカーゼ様酵素の機能解析	B8:森口剛介(大阪工業大学)ら、活性化した褐色脂肪細胞において抗リン酸化NFκB抗体が認識するタンパク質について	C8:吉田亜佑美(京都産業大学)ら、VEGF-A/NRP1シグナルの阻害はがん細胞の増殖と転移を抑制する	D8:山本晃毅(長浜バイオ大学)ら、周期構造金属薄膜を用いた細胞分離と赤外線透過性による検出	E8:谷口甲介(神戸学院大学)ら、非晶質ナノシリカはPI3Kシグナルを介した血管の弛緩反応を惹起する

9	11:25~11:35	A9: 山口 大志(近畿大学)ら、イオン液体耐性プロテアーゼの特性とイオン液体耐性細菌のゲノム解説 A10: 加藤 志郎(関西大学)ら、D-アミノ酸高生産乳酸菌のドラフトゲノム解析 A11: 西 海斗(京都府立大学)ら、好熱菌 <i>Methiobacterium ruber</i> H328株が生ずるケラチン分解性プロテアーゼに関する研究	B9: 松岡 悦子(大阪工業大学)ら、糖尿病神経因性疼痛に伴う脊髄におけるミトコンドリアの機能解析 B10: 大野 華奈(大阪工業大学)ら、糖尿病性神経因性疼痛に伴う脊髄後角の一酸化窒素産生制御 B11: 馬屋原 慈理(立命館大学)ら、フコキサンチンによる肥満細胞形成阻害効果	C9: 堀部 智久(京都大学)ら、P5活性化阻害剤のスクリーニングおよび癌細胞からのMIGAの分泌に及ぼす影響 C10: 芦野 佳那子(立命館大学)ら、Hippo経路を制御するTRIM/RBCCタンパク質TRIM3の機能解析 C11: Kongracha P.(大阪大学)ら、Inhibition of the LAT1-mediated leucine transport affects multiple cellular processes in pancreatic cancer cells.	D9: 横川 貴太(京都大学)ら、MMLV逆転写酵素のRNase Hドメインの性状解析 D10: 辻 将吾(京都大学)ら、TALEタンパク質の分子進化 D11: 石田 莉葉子(和歌山県立医科大学)ら、ES1マスマスベクトルを用いた非ワトソン-クリック型塩基対の検出について	E9: 田中 正和(関西医科大学)ら、生体内におけるポリADPリボシル化反応と細胞増殖との関連について E10: 英山 明慶(大阪大学)ら、タンパク質N末端アセチル化を介した選択的ミトコンドリア分解の制御 E11: 東本 菜月(和歌山県立医科大学)ら、ラット線維芽細胞におけるTGF- β シグナルのHsc70による制御について	
L	12:05~12:35	ランチオンセミナー(アミノアップ化学主催): 宇留島 隼人 (ラルカディア1階R101)					
	12:40~13:10	ポスター前で自由討論 (エポック立命21 1階ホール)					
	13:10~14:10	一般講演 (演題番号、筆頭著者、タイトルを記載しています)					
	セッション	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	
12	13:10~13:20	エポック立命21 3階K309 A12: 大野 絹代(奈良女子大学)ら、クラスリン集合タンパク質CALM欠損が及ぼすメラニン産生への影響 A13: 吉田 沙織(立命館大学)ら、胃腸上皮の構築と発進におけるエズリンノックダウンの影響 A14: 柴田 理志(大阪大学)ら、ARHGEF10はRab8の局在に関与する A15: 河野 貴子(立命館大学)ら、血管透過性制御におけるミオシン軽鎖のリン酸化制御システムの解析	エポック立命21 3階K310 B12: 上田 佳奈(和歌山県立医科大学)ら、Mindin thrombospondin type-1 repeat ドメインにおけるC-mannosyl化による分泌促進 B13: 福井 健人(京都大学)ら、酵母Pkc1の構成的活性化変異体の過剰発現が細胞死とキチン含量に及ぼす影響 B14: 藤井 正興(立命館大学)ら、進化トレース法を用いたO-GlcNAc転移酵素の進化解析 B15: 梅川 碧里(立命館大学)ら、出芽酵母 α -マンノシダーゼAMS1の活性制御機構の解析	ラルカディア 2階R201 C12: 山下 敏季(立命館大学)ら、トランスオミクスによる線虫Caenorhabditis elegansにおけるMEX-1 C13: 牛田 吉泰(立命館大学)ら、線虫Caenorhabditis elegansにおけるセラムドキナーゼ関連遺伝子T10B11.2の遺伝子発現および表現型解析 C14: 田島 達也(摂南大学)ら、線虫(C. elegans)のオス特異的な受精必須遺伝子spe-45の機能解析 C15: 中西 加純(摂南大学)ら、線虫(C. elegans)を用いた精細胞活性化因子の同定	ラルカディア 2階R202 D12: 山口 賀章(京都大学)ら、概日リズムの頑強性を担う視交叉上核バソプレジシン神経結合 D13: 池田 亜弥(神戸薬科大学)ら、ヘパリン硫酸の合成異常が神経発生と行動に与える影響についての解析 D14: 浅野 弘嗣(京都産業大学)ら、カルマン症候群原因遺伝子産物Anosmin-1はNetrin-1と結合する D15: 坂本 凌(立命館大学)ら、microRNA-1270に拮抗するインターフェロン α competing endogenous RNAネットワーク	ラルカディア 1階R102 E12: 内藤 朋樹(京都大学)ら、リン脂質フリッパーゼATP10AのPCフリッパー活性及び細胞膜ダイナミクスへの関与 E13: 土谷 正樹(京都大学)ら、骨格筋線維形成におけるリン脂質フリッパーゼの役割 E14: 徳永 智久(京都大学)ら、エイコサペンタエン酸の新規生理機能解析に應用できる ω -末端修飾型脂肪酸ナログ体の効率的な合成法の確立 E15: 豊竹 洋佑(京都大学)ら、 <i>Shewanella livingstonensis</i> Ac10における細胞膜リン脂質多様性に関与するPIsC4の基質特異性の解析	
13	13:20~13:30						
14	13:30~13:40						
15	13:40~13:50						
16	13:50~14:00	A16: 矢澤 一生(大阪大学)ら、心筋特異的な膜タンパク質の同定 解析 B16: 志田 美春(神戸薬科大学)ら、コンドロイチン硫酸鎖の発現制御による初期軟骨分化過程の制御機構の解析 C16: 早川 結実子(長浜バイオ大学)ら、ヘリコクタン-ピロリの産生毒素VacAに対するペプチドアダプターとの探索と評価 D16: 小西 諒(京都工芸繊維大学)ら、核糖トラップのRISC に対する結合親和性評価法の開発 E16: 木村 優花(滋賀大学)ら、節足動物における中性糖脂質の共通性 - クロスズメバチ <i>Vespa flaviceps</i> 幼虫を用いて					

17	14:00~14:10	A17: 森田 寛之(姫路獨協大学)ら、Kinesin family member 20A(KIF20A)の多核化と細胞分裂への関与 B17: 本田 葵(奈良先端科学技術大学院大学)ら、糖脂質硫酸基転移酵素遺伝子の導入によるヒト子宮内膜癌細胞の表現形質の変化 C17: 和久 友則(京都工芸繊維大学)ら、異方性形態を有するペプチドナノキャリアによる細胞内抗原ペプチド呈示の役割	D17: 植山 萌恵(立命館大学)ら、eMycにより発現制御されるmiR17-92のiPS細胞誘導過程における役割に関する研究	E17: 片岡 三和(立命館大学)ら、Neurospora crassaにおけるセラミド代謝酵素遺伝子ホモログの生理的役割		
	12:00までに掲示	ポスター発表 (エポック立命21 1階ホール)				
	14:20~15:25	一般講演のポスター発表				
		A1~A17	B1~B17	C1~C17	D1~D17	E1~E17
		A18: 田村 峻佑(立命館大学)ら、植物細胞壁ペクチン由来ラムノガラクトロナン(LRG-1)オリゴ糖の調製とRG-1生合成酵素の活性測定法の構築 A19: 浅井 智広(立命館大学)ら、水モダイマー光合成反応中心複合体の人工的ヘテロダイマー化 A20: 西田 亮(立命館大学)ら、大腸菌一遺伝子欠失株Keioコレクションを用いたリルル酸還元関連遺伝子の網羅的解析 A21: 川口 高徳(立命館大学)ら、腎尿管での電解質再吸収におけるアクチン結合タンパク質モエシンの生理的役割の解明 A22: 井上 恭(立命館大学)ら、GPR120の脂肪細胞分化に対する影響の解析 A23: 松田 諒子(立命館大学)ら、植物細胞壁生合成に必要なUDP-アピオースの調製法の開発	B18: 奥山 哲矢(立命館大学)ら、ソウジュツによる初代培養肝細胞の一酸化窒素誘導の効果 B19: 内田 弘子(立命館大学)ら、養シャクヤクとポタンビによる初代培養肝細胞の一酸化窒素誘導に対する効果 B20: 平宗一郎(立命館大学)ら、フコキサンチンによるアトピー性皮膚炎予防効果 B21: 横川 拓海(京都大学)ら、神経細胞においてp38 MAPKおよびcAMPシグナルはPGC-1 familyの発現を制御する B22: 小野 伯容(立命館大学)ら、線虫Caenorhabditis elegansにおける抗微生物ペプチド遺伝子cnc-2発現経路のモデル構築 B23: 六嶋 千春(立命館大学)ら、線虫Caenorhabditis elegansの初期胚発生においてスフィンゴシンキナーゼsphk-1とスフィンゴシンリリン酸分解酵素53C3.13は必須遺伝子である	C18: 成川 智貴(立命館大学)ら、初期化因子によるiPS細胞および心筋細胞の誘導過程における転写因子Foxd1の果たす役割 C19: 早川 千尋(立命館大学)ら、ストレス応答シグナルが多能性の獲得と維持に果たす役割に関する研究 C20: 野津 遼祐(立命館大学)ら、G-CSFシグナルを伝達する人工受容体の作製とこれを安定発現する多能性幹細胞株の樹立 C21: 近藤 真菜美(京都産業大学)ら、神経軸索ガイダンス分子Anosmin-1が血管内皮細胞におよぼす生理作用の解析 C22: 小野 伯容(立命館大学)ら、線虫Caenorhabditis elegansにおける抗微生物ペプチド遺伝子cnc-2発現経路のモデル構築 C23: 六嶋 千春(立命館大学)ら、線虫Caenorhabditis elegansの初期胚発生においてスフィンゴシンキナーゼsphk-1とスフィンゴシンリリン酸分解酵素53C3.13は必須遺伝子である	D18: 吉田 徳之(立命館大学)ら、乳癌培養細胞並びに組織におけるEphA2アンチセンスRNAの発現	E18: 井田 智恵利(名古屋女子大学)ら、ELISAをベースとしたポリ(ADP-リボース)測定法の確立と培養細胞からのポリ(ADP-リボース)抽出法の検討
		高校生のポスター発表				
		H1: 越智匠海, 佐藤直, 菅原麻由, 無葉緑植物ギンリョウソウと外生菌根菌の共生関係 —外生菌根菌を介した地下部ネットワークの解明— H2: 西井瑞季, 東畑和真, 橋亮蔵, サリドマイドは植物の生長にどのような影響を及ぼすか H3: 田端慶貴, 平瀬詩織, 原田勇輝, 田中美穂, パナナの皮のキリン化現象について H4: 池田楓, 岡本侑里香, 水谷彩乃, 安田悠真, 山之内志穂, 乳がん細胞の上皮間葉転換(EMT)における線維芽細胞増殖因子(FGF1)及び形質転換増殖因子(TGF-β1)の役割				
		立命館慶祥高等学校 京都府立桃山高等学校 大阪府立天王寺高等学校				

14:20～15:25	大阪府立園芸高等学校	H5: 桑野峻, 國藤侃志, 石田祐輔, 高橋鳳翔, 野生乳酸菌のプロバイオティクス性に関する研究 H8: 植田友也, 大田董月, 小田彩乃, 古川菜々美, 輪紋病発生に関与する環境要因の解析	H6: 松口果歩, 松口莉歩, フザリウム属のカビを利用した海藻からの還元糖の生成とアルコール生産の可能性 H9: 平重輝, 西島拓海, 伊藤黎弥, 吉岡友裕, 生田依子, タンパク質以外の不凍物質	H7: 橋本英和, 山地潤心, 「池田ミカシ」の系譜に関する研究 - 異掌からのDNA抽出とRAPD分析による系統分析の可能性 - H10: 野口輝, 井西司, 若狭航季, 浅井雄飛, 二種の溶液を混ぜた混合溶液での再結晶	H11: 辻侖衣, 柴田規迪, 杉村侑亮, 橋爪沙良, 武内翠穂子, イ木の有効活用～食べるだけじゃもったいない!
	奈良県立青翔高等学校				
	兵庫県立神戸高等学校	H12: 赤坂貴浩, 河合真央, 合田元英, 齊藤良典, 里井俊太, 地衣類から新抗生物質を見つける			
	17:00まで		ポスター撤去		
S2	15:40～16:20		シンポジウム: 森 和俊 (ラルカディア1階R101)		
S3	16:20～17:00		シンポジウム: 長田 重一 (ラルカディア1階R101)		
S4	17:00～17:40		シンポジウム: 喜多 正和 (ラルカディア1階R101)		
P	17:40～18:10		平成27年度日本生化学会近畿支部奨励賞の授賞式と受賞記念講演: 波多野 亮 (ラルカディア1階R101)		
	18:30～20:00		懇親会 (優秀発表賞の発表と表彰を含む)(ユニオンスクエア)		

座長については後日、ホームページでご連絡します。